

令和6年度 授業改善推進プラン教科別計画 【国語科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」・「どのように」・「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1年	山下 長尾 佐藤 渉	① 根拠を明確にしながら、自分の考えを伝える文章を構成し、相手に伝わるように適切な言葉を用いて書いたり、話したりできる力。 ② 文章に表れているものの見方や考え方について自身の知識や体験と関連付けて考えをまとめる力。	① お互いの考えを交流しあう時間とそれによる学びを言語化する機会を繰り返し設け、文章作成に生かす取り組みを行う。 ② マッピング等を使い、まとめる前に自分の考えを整理させるとともに、そこに関連する知識や体験を書き出させたり、交流活動の中で引き出しあったりする。	① お互いの考えを交流しあう時間とそれによる学びを言語化する機会を繰り返し設け、文章作成に生かす取り組みを行う。 ② マッピング等を使い、まとめる前に自分の考えを整理させるとともに、そこに関連する知識や体験を書き出させたり、交流活動の中で引き出しあったりする。
2年	長尾 佐藤 渉	① 具体例や知識・体験を挙げながら説明し、自身の伝えたいことが適切に相手に伝えられる能力。 ② 文章に表れているものの見方や考え方について自身の知識や体験と関連付けて考えをまとめる力。	① 文章を書く際には手引きを示す。また、互の作品を交流しあう時間とそれによる学びを言語化する機会を設け、これからの自分の文章作成に生かす取り組みを行う。 ② マッピング等を使い、まとめる前に自分の考えを整理させるとともに、そこに関連する知識や体験を書き出させたり交流活動の中で引き出し合ったりする。	① 文章を書く際には手引きを示す。また、互の作品を交流しあう時間とそれによる学びを言語化する機会を設け、これからの自分の文章作成に生かす取り組みを行う。 ② マッピング等を使い、まとめる前に自分の考えを整理させるとともに、そこに関連する知識や体験を書き出させたり交流活動の中で引き出し合ったりする。
3年	佐藤 美	① 事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う言葉の語感を磨くこと。 ② 相手の反応や理解度を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	① 正しい日本語であるかの観点で、文章を推敲する機会を増やす。友達の作品を読んで評価し合うとともに、言葉を厳選する活動を数多く設定する。 ② 入試問題の作文練習を通して、相手に伝わる文章を書く技術身に付けさせる。	①教科書の文章を丁寧に読んだ後、応用課題に取り組み、読解力を伸ばす。 ②単元を振り返り、自分の考えを適切な言葉で時間内にノートにまとめる。 ③小テストや定期考査で繰り返し基本問題に取り組みせ、知識の定着を図る。

